

流出油処理剤

国土交通省承認番号「第P-604号」

## ネオス AB3000N

株式会社ネオス

ネオス AB3000Nは海上での流出油の事故対策処理を目的として開発された油処理剤です。

\* ネオス AB3000Nの特徴

- ・ネオス AB3000N中に配合された界面活性剤の力によって流出油が乳化・分散します。
- ・ネオス AB3000Nは粘度の高いC重油などの流出油にも対応しています。
- ・ネオス AB3000Nは対生物毒性が低く、環境に対する影響性が少ない油処理剤です。
- ・ネオス AB3000Nは水界より油を除去するものでなく、油を超微粒子として海中に拡散させることを目的としています。
- ・ネオス AB3000Nが分散した油分は海岸、海中構造物、船舶並びに岩や砂への付着が減少し、油塊状化の防止、作業性の向上、経済的損害を軽減させます。
- ・ネオス AB3000Nは微粒子化した油粒子及び油粒子表面に吸着した界面活性剤は太陽光線並びに微生物によって時間の経過とともに分解され自然浄化されます。

\* ネオス AB3000Nの使用方法

ネオス AB3000Nの原液を手押しポンプ等で霧状に散布し、薬剤が流出油に浸透した後ボートのスクリュー、ワッシュ・デッキホース等によって水面を撹拌してください。

標準使用量は

- 原油 15～20%
- A重油・C重油 20～30%

なお、流出油の浮遊状態により、多少異なります。

\* ネオス AB3000Nの特数（代表値）

- ・外観 淡褐色透明液体
- ・比重（15℃） 0.850
- ・引火点（ペンスキーマルテンス式） 110℃
- ・粘度（mm<sup>2</sup>/s/30℃） 9.1 mm<sup>2</sup>/s

\* ネオス AB3000Nの性能・性状

項目		試験方法	運輸省認可基準	ネオス AB3000N
乳化率	30 秒後 (%)	運輸省船舶局船 査第 5 2 号 (昭和 5 9 年 2 月 1 日) に定める排出油 防除資材の性能 試験基準による	6 0 以上	9 9
	10 分後 (%)		2 0 以上	8 7
生分解度 (%)			9 0 以上	1 0 0
対生物毒性	スケトネマコスタム (ppm)		1 0 0 以上	5 6 0 以上 1, 0 0 0 未満
	ヒメダカ (LD50, ppm)	3 0 0 0 以上	3 2, 0 0 0 以上	

\* 荷姿

- ・ 1 8 ℓ 石油缶

(注) 特数、荷姿は都合により変更することがあります。